



教員が研究の楽しさを語る

第169回(10/10)中村 伸枝先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

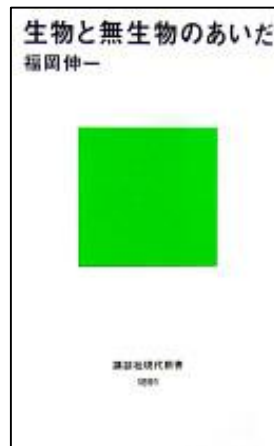
Book1

生物と無生物のあいだ

著者：福岡伸一著

出版：講談社, 2007.5

コメント：分子生物学の話ですが、芸術的な要素があり、動的平衡やDNAの構造がひらめく場面は、映画を見ているような展開で一気に読む事が出来ます。生物は、とても複雑である一方で単純でもあり、本当によくできている！と感じる1冊です。



Book2

くまとやまねこ

著者：湯本香樹実ぶん；酒井駒子え

出版：河出書房新社, 2008.4

コメント：大切な友だちを亡くした「くまとやまねこ」の深い悲しみや心の交流、グリーンフェアが丁寧に描かれた、ちょっと哲学的な絵本です。教育学部の加藤修先生に紹介され、題目を忘れて本屋に行き、店員さんに絵本の内容をしゃべり続けていたら検索して見つけて下さいました。

